

導入事例

Cargill 社、5 年間の自動化導入期間で 1,900 万ドルを削減

組織概要

Cargill 社は、156 年にわたる経験と新しいテクノロジーおよびインサイトを組み合わせることで、125 ヶ国以上の食品、農業、金融、産業分野の顧客にとって信頼できるパートナーとなっています。同社は、明日もまた世界を養えるよう、消費者が求めている製品を開発するとともに、パートナーのイノベーションの推進とリスク管理をサポートし続けています。

結果

1,900 万ドル

現在までの削減額

700

見つかった機会の数

236

2023 年度までに追加される自動化の数

“

現在までの削減額は 1,900 万ドルで、アイデアからプロジェクトへ転換できた機会は 700 件に上りました。

Bonnie Dallum 氏

Cargill 社、
グローバル インテリジェント オート
メーション CoE リード



課題

Cargill 社では、70 ヶ国の従業員が 125 ヶ国以上のパートナーや顧客にサービスを提供しており、各部門で地域ごとに標準化されていないプロセスがありました。そのため、オートメーションを通じて多様なプロセスを融合すれば、従業員の手間のかかる単純作業と潜在的なヒューマン エラーを削減できる可能性が大いにありました。

ソリューション

Cargill 社は 5 年前からオートメーションに着手し、これまで世界中の職務で 236 のオートメーションを導入してきました。センターオブ エクセレンス (CoE) は、インテリジェント オートメーション (IA) を通じて組織の変革を主導し、IA ロードマップの推進と導入および拡張の促進という使命を果たして、全面的なオートメーションを実現してきました。調達から支払いだけでも 76 のプロセス、注文入力に関しては 50 以上のプロセスが含まれ、他にも、トレーディング、財務、物流、IT、人事、プランニング、セールスの各部門で大きな価値をもたらすオートメーションを実現してきました。

自動化されたプロセス

- グローバルベンダーの非アクティブ化
- 注文の入力
- 請求書処理

“
オートメーションは、FTE の削減以外にも、企業にもメリットをもたらすことができます。それは顧客満足度にもメリットをもたらし、Cargill 社全体にとって大きなチャンスにもなります。

Bonnie Dallum 氏

Cargill 社、グローバルインテリジェントオートメーション CoE リード

事例の概要

グローバルなサプライチェーンを有する Cargill 社は、運用プロセスの最適化機会を複数特定しました。この最適化により、FTE の削減だけでなく、パートナー満足度と顧客維持率の向上も実現します。中でも特に重要なのが、注文入力の自動化です。Cargill 社は、多数の方法 (メールの添付ファイル、写真、手書きのメモなど) を通じて、多数の言語で、世界中から注文を受けていました。同社は、ロボティック・プロセス・オートメーション (RPA) と光学文字認識 (OCR) の使用を組み合わせた統合アプローチを取るソリューションを開発しました。その結果、年間 50,000 件の注文を自動処理し、カスタマーサービス担当者の貴重な時間を解放できました。

また、調達から支払いまでを担う同社の事業部門では、人件費を 120 万ドル削減する必要がありました。同社のシステムには、休眠ベンダーの記録が 150,000 件以上保持されており、それらのファイルを迅速かつ効率的に非アクティブ化する方法を求めていました。そこで、記録のリストを読み取り、ERP にログインし、記録を非アクティブ化し、ユーザーに通知するための、1 回限りのオートメーションを開発しました。この 1 回限りの Bot が成功に終わったため、同社は、休眠ベンダーを継続的に保守するための別の Bot も開発し、合計 268,000 件の記録を非アクティブ化しました。人間による介入を一切不要にすることで、従業員の時間を大幅に解放することに成功しました。

今後の展望

5 年間にわたり 236 のオートメーションを実現し、たゆまず進化し続けてきた Cargill 社は、成熟したオートメーションプログラムを確立し、整備してきたと言えますが、まだこれで終わりではありません。これまで同社のプロセス ディスカバリーとパイプラインは、ボトムアップのアプローチに支えられてきました。今後は、経営幹部レベルのビジネスユーザーと連携し、重要なプロセスの課題と、こうした課題が新しいオートメーションの事例にチャンスをもたらすかどうかを理解することで、この状況を一変させたいと考えています。さらに、プロセス ディスカバリーにさらに多くのプロセスやタスクマイニングを組み込み、今後、プログラムに市民開発をどのように取り入れていけるかを模索しています。

Automation Anywhere について

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォースプラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、下記ホームページ、もしくはメールアドレスからお申し込みください。

Automation Anywhere  www.automationanywhere.com/jp  contact_Japan@automationanywhere.com

 @AutomationAnwJP  www.facebook.com/AutomationAnywhJP

Copyright © 2024 Automation Anywhere, Inc. Automation Anywhere, A のロゴ、Automation 360、AARI、A-People、IQ Bot、Bot Insight は、米国およびその他の国における Automation Anywhere Inc. の商標・サービスマーク、または登録商標・サービスマークです。本書に記載されるその他の製品および会社名は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。